

# 令和7年度 学校自己評価

2026/3/13

上田市長和町中学校組合立依田窪南部中学校

昨年度比 (A+B評価) +5%以上

-5%以上

## 1. 結果と考察

※グラフ左から A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:ややあてはまらない D:あてはまらない

### 【質問項目1】 集団との関わり

【職員】 ①学級活動、生徒会活動、行事等で、生徒一人ひとりに役割を持たせることで、生徒が主体的に級友とかかわって活動しています。

【保護者】 ①授業参観や生徒(お子さん)の話から、生徒(お子さん)は級友と仲良くなかかわりながら学校生活を送っていると感じる。

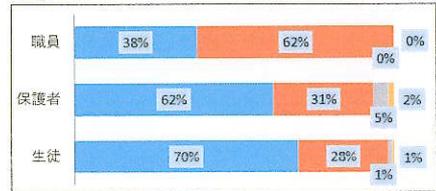
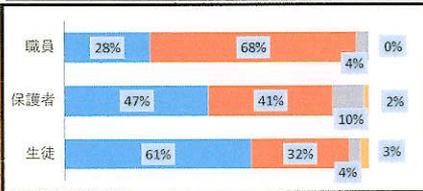
【生徒】 ①学級活動、生徒会活動、行事等では、自分の役割を果たしながら、クラスのみならず、協力合っています。

	生徒	保護者	職員
調査数	139	127	25

令和7年度	A	B	C	D
職員	28%	68%	4%	0%
保護者	47%	41%	10%	2%
生徒	61%	32%	4%	3%

A+B	令和6年度	A	B	C	D
職員	96%	57%	43%	0%	0%
保護者	88%	49%	40%	7%	3%
生徒	94%	63%	34%	3%	1%

A+B	令和5年度	A	B	C	D
職員	100%	38%	62%	0%	0%
保護者	89%	62%	31%	5%	2%
生徒	97%	70%	28%	1%	1%



### 【質問項目2】 友だちとの関わり

【職員】 ②集団の中の自分の姿や集団のあり方を考えさせることで、生徒が友だちの気持ちを考えたり自分の気持ちを相手に伝えたりしながら学校生活を送っています。

【保護者】 ②生徒(お子さん)は、相手の気持ちを大切にしたり、自分の考えを相手に伝えたりすることができる。

【生徒】 ②集団の中の自分の姿や集団のあり方を考えることで、友だちの気持ちを考えたり自分の気持ちを相手に伝えたりしながら、学校生活を送っています。

令和7年度	A	B	C	D
職員	24%	56%	20%	0%
保護者	28%	52%	17%	3%
生徒	57%	35%	8%	1%

A+B	令和6年度	A	B	C	D
職員	80%	39%	57%	4%	0%
保護者	80%	53%	30%	15%	2%
生徒	91%	57%	35%	7%	2%

A+B	令和5年度	A	B	C	D
職員	96%	23%	77%	0%	0%
保護者	83%	27%	60%	13%	1%
生徒	91%	60%	36%	4%	1%



### 【質問項目3】 達成感や楽しさ

【職員】 ③学級活動、生徒会活動、行事、部活動等で、人間関係づくりの場や生徒自らが主体的に活動に取り組む場を設定することで、集団としてのまとまりが向上し、生徒一人ひとりが個々の良さを発揮できています。

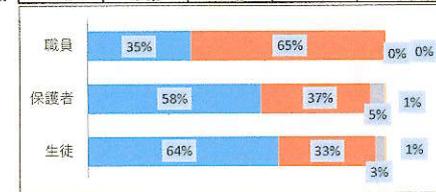
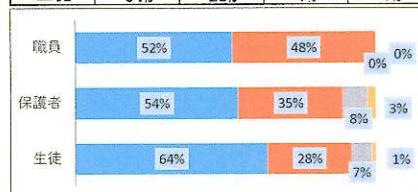
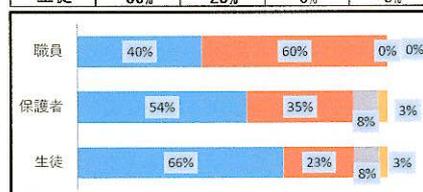
【保護者】 ③学校での集団活動を通じて、生徒(お子さん)が成長していると感じる。

【生徒】 ③学級活動、生徒会活動、行事、部活動等で、達成感や楽しさを感じながら、自分から積極的に活動に取り組んでいます。

令和7年度	A	B	C	D
職員	40%	60%	0%	0%
保護者	54%	35%	8%	3%
生徒	66%	23%	8%	3%

A+B	令和6年度	A	B	C	D
職員	100%	52%	48%	0%	0%
保護者	89%	54%	35%	8%	3%
生徒	89%	64%	28%	7%	1%

A+B	令和5年度	A	B	C	D
職員	100%	35%	65%	0%	0%
保護者	95%	58%	37%	5%	1%
生徒	96%	64%	33%	3%	1%



### 【質問項目4】 相談・生徒理解

【職員】 ④生徒を深く理解し支援するために、生徒の実態把握に努め、生徒に声をかけたり相談に乗ったりしながら、日々個々に応じたかかわりを持つことができています。

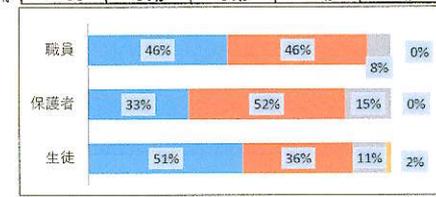
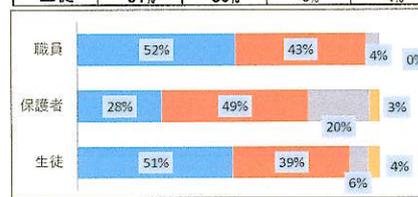
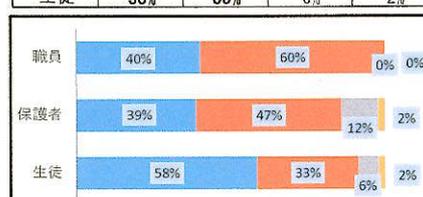
【保護者】 ④学校の職員は生徒(お子さん)の理解に努めたり、何かあったときは相談に乗ったりしてくれます。

【生徒】 ④先生は自分のことをわかってくれたり、困った時は相談に乗ったりしてくれます。

令和7年度	A	B	C	D
職員	40%	60%	0%	0%
保護者	39%	47%	12%	2%
生徒	58%	33%	6%	2%

A+B	令和6年度	A	B	C	D
職員	100%	52%	43%	4%	0%
保護者	86%	28%	49%	20%	3%
生徒	91%	51%	39%	6%	4%

A+B	令和5年度	A	B	C	D
職員	96%	46%	46%	8%	0%
保護者	76%	33%	52%	15%	0%
生徒	90%	51%	36%	11%	2%



**【質問項目5】 人権教育**

【職員】 ⑤人権教育や日々の教育活動の中で、生徒の人権感覚を高め、いじめや差別のない集団づくりに関わろうとする気持ちを育てています。

【保護者】 ⑤生徒（お子さん）は、人権教育での取り組みや日々の学校生活を通して、人のことを大切に思う気持ちや、いじめや差別のない集団づくりにかかわっていかうとする気持ちが育ってきていると感じる。

【生徒】 ⑤南中人権宣言を尊重し、人のことを大切に思う気持ちと、いじめや差別のない集団づくりにかかわっていかうとする気持ちを持っています。

**令和7年度**

	A	B	C	D
職員	48%	48%	4%	0%
保護者	38%	53%	8%	2%
生徒	60%	36%	3%	1%



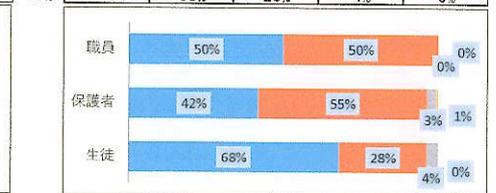
**A+B 令和6年度**

	A	B	C	D
職員	67%	33%	0%	0%
保護者	32%	55%	11%	1%
生徒	65%	30%	4%	1%



**A+B 令和5年度**

	A	B	C	D
職員	50%	50%	0%	0%
保護者	42%	55%	3%	1%
生徒	68%	28%	4%	0%



**【質問項目6】 清掃の取り組み**

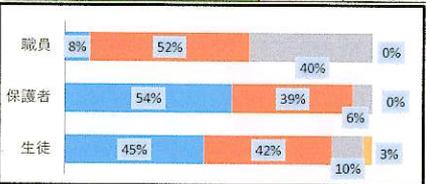
【職員】 ⑥清掃への取り組みの活性化を図ったり、ともに清掃に取り組んで現場指導をしたりすることで、生徒が進すすんで清掃に取り組んでいます。

【保護者】 ⑥来校した際は、校舎内外の清掃や整頓が行き届いていると感じられる。

【生徒】 ⑥無言清掃を心がけて、清掃にすすんで取り組んでいます。

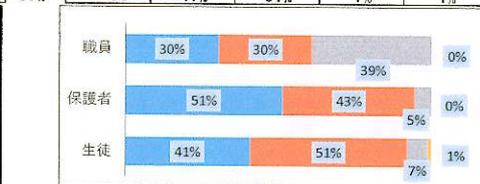
**令和7年度**

	A	B	C	D
職員	8%	52%	40%	0%
保護者	54%	39%	6%	0%
生徒	45%	42%	10%	3%



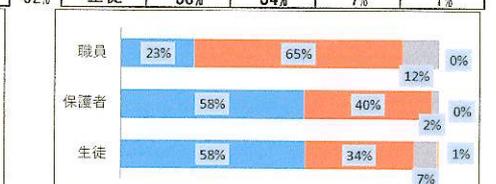
**A+B 令和6年度**

	A	B	C	D
職員	30%	30%	39%	0%
保護者	51%	43%	5%	0%
生徒	41%	51%	7%	1%



**A+B 令和5年度**

	A	B	C	D
職員	23%	65%	12%	0%
保護者	58%	40%	2%	0%
生徒	58%	34%	7%	1%



**【質問項目7】 下駄箱の靴そろえ**

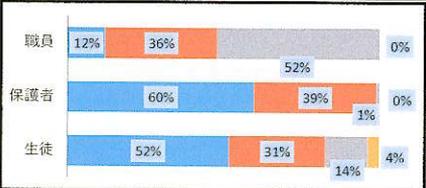
【職員】 ⑦声かけ等の意識喚起によって、生徒がすすんで下駄箱の靴をそろえています。

【保護者】 ⑦学校の昇降口は下駄箱の靴がそろったり、展示が充実したりし、気持ちのよい空間になっていると感じる。

【生徒】 ⑦自分からすすんで、下駄箱の靴をそろえています。

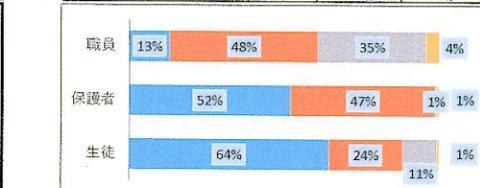
**令和7年度**

	A	B	C	D
職員	12%	36%	52%	0%
保護者	60%	39%	1%	0%
生徒	52%	31%	14%	4%



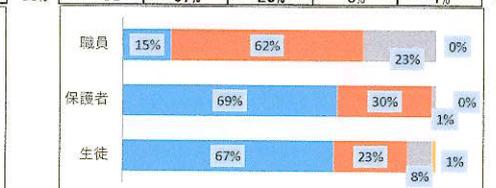
**A+B 令和6年度**

	A	B	C	D
職員	13%	48%	35%	4%
保護者	52%	47%	1%	1%
生徒	64%	24%	11%	1%



**A+B 令和5年度**

	A	B	C	D
職員	15%	62%	23%	0%
保護者	69%	30%	1%	0%
生徒	67%	23%	8%	1%



**【質問項目8】 あいさつ**

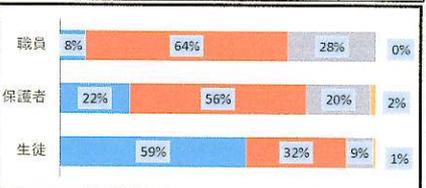
【職員】 ⑧学校、学年、学級、部活動などでの指導を工夫することで、学校や地域で、生徒は一人でもすすんであいさつしています。

【保護者】 ⑧生徒（お子さん）は、学校や地域ですすんであいさつをしている。

【生徒】 ⑧学校や地域で、自分からすすんであいさつをしています。

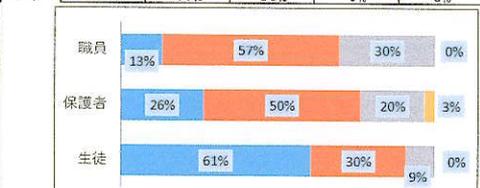
**令和7年度**

	A	B	C	D
職員	8%	64%	28%	0%
保護者	22%	56%	20%	2%
生徒	59%	32%	9%	1%



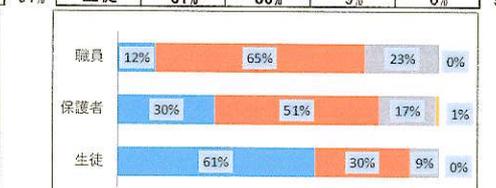
**A+B 令和6年度**

	A	B	C	D
職員	13%	57%	30%	0%
保護者	26%	50%	20%	3%
生徒	61%	30%	9%	0%



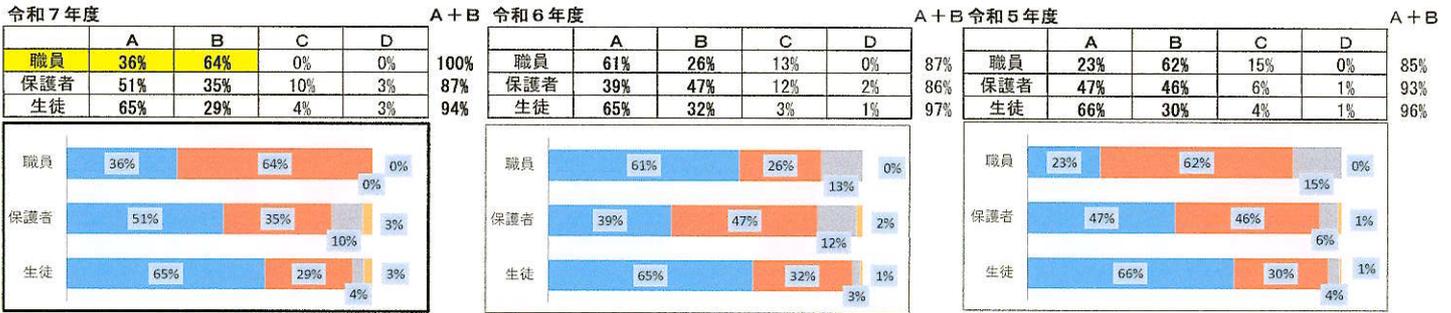
**A+B 令和5年度**

	A	B	C	D
職員	12%	65%	23%	0%
保護者	30%	51%	17%	1%
生徒	61%	30%	9%	0%



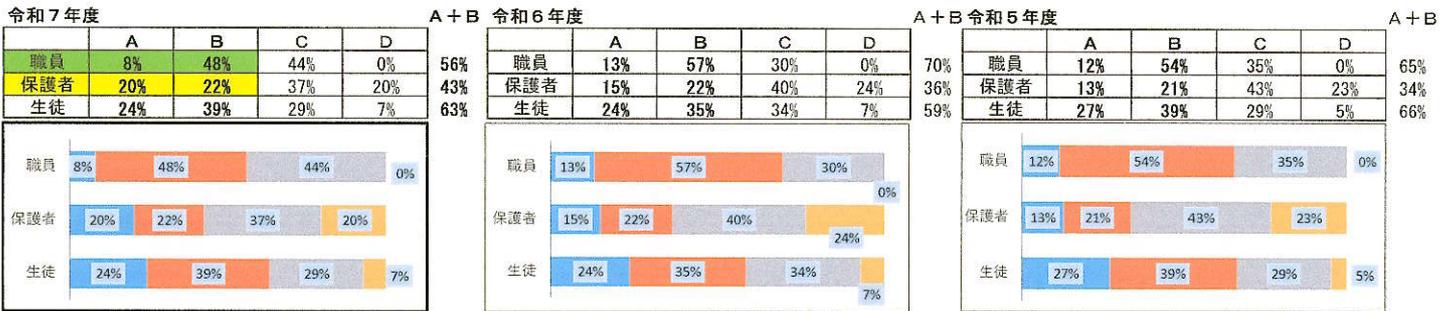
**【質問項目 9】 合唱活動**

【職員】 ⑨合唱練習を学年集会や学級の活動に位置づけ、練習の時間を確保したり、発表の場を設けたり、職員自ら合唱に参加したりすることで、校内に日々生徒たちの歌声を響かせています。  
 【保護者】 ⑨文化祭や授業参観での姿、生徒(お子さん)の話から、南中の生徒は、全校、学年、学級での合唱に意欲的に取り組んでいると感じる。  
 【生徒】 ⑨合唱の良さや大切さがわかり、学年や学級、または集会等で、積極的に合唱に参加しています。



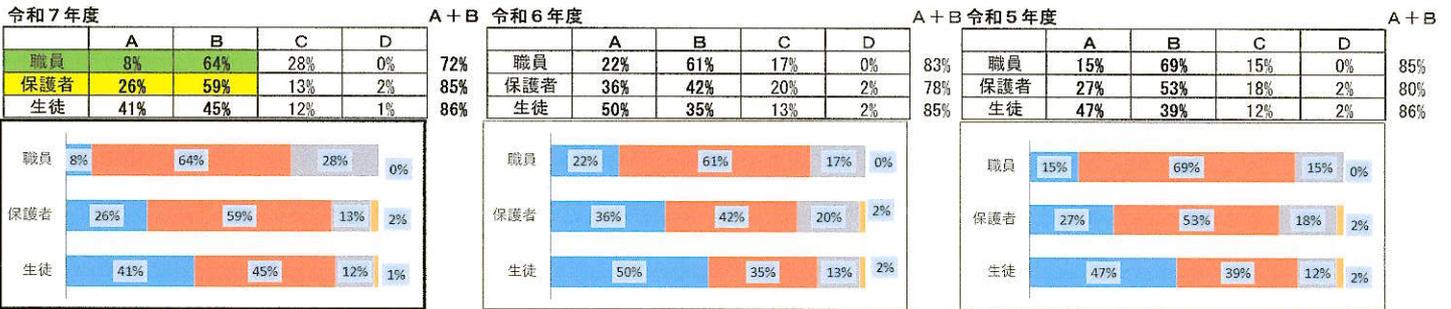
**【質問項目 10】 家庭学習**

【職員】 ⑩自学タイムを活用して学習計画を立てさせたり、家庭学習の方法や内容を指導したりすることで、生徒が目標時間(1年週70×7=490分・2年週80×7=560分・3年週90×7=630分)の家庭学習を行っています。  
 【保護者】 ⑩生徒(お子さん)は、宿題や自主学習等に、学年目標時間(1年週70×7=490分・2年週80×7=560分・3年週90×7=630分)の家庭学習を行っている。  
 【職員】 ⑩自学タイムを活用して学習計画を立て、宿題や自主学習をすることで、学年目標時間(1年週70×7=490分・2年週80×7=560分・3年週90×7=630分)家庭学習を行っています。



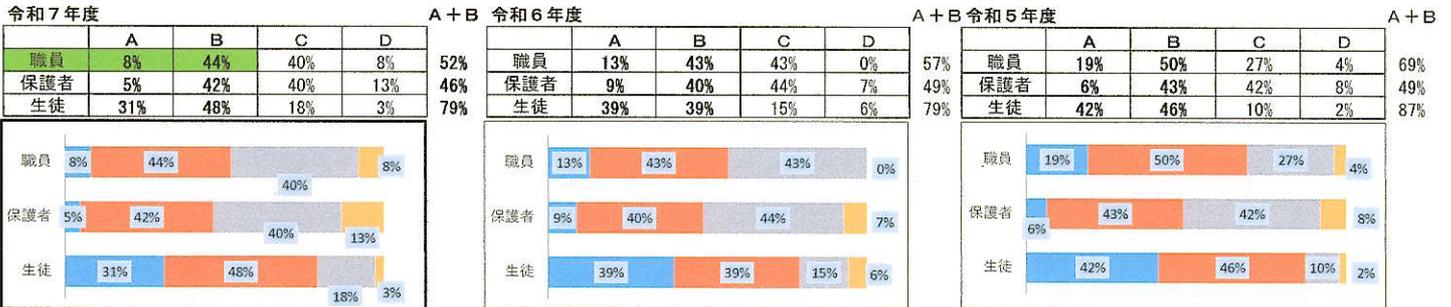
**【質問項目 11】 生活習慣づくり**

【職員】 ⑪学校からの通知や生活実態調査の結果などを活用して指導することで、生徒がより良い生活習慣づくり(「早寝・早起き・朝ごはん」)に取り組んでいます。  
 【保護者】 ⑪ご家庭で、お子さんのより良い生活習慣づくり(早寝・早起き・朝ごはん)を意識した取り組みを心がけている。  
 【生徒】 ⑪より良い生活習慣づくり(「早寝・早起き・朝ごはん」)に取り組んでいます。



**【質問項目 12】 メディアコントロールの実践**

【職員】 ⑫ノーメディアの必要性を指導することで、生徒がそれぞれの目標を持ってメディアコントロールの実践に取り組んでいます。  
 【保護者】 ⑫メディアコントロールも取り組みは、家庭において家族の会話づくりや学習時間・読書時間の確保等を親子で見直す機会になっている。  
 【生徒】 ⑫メディアコントロールに取り組むことで、学習時間や睡眠時間の確保について見直すことができています。



**【質問項目 1 3】 地域との連携**

【職員】 ⑬地域との連携を大切にして、教育活動を推進したり、地域の方々と交流したりしています。  
 【保護者】 ⑬お子さんの成長のためにご家庭では、学校や地域との連携を大切にしている。  
 【生徒】 ⑬依田窪地域の自然や農業、工業、商業、観光などについて興味や関心をもっています。

令和7年度

	A	B	C	D
職員	64%	36%	0%	0%
保護者	24%	54%	20%	2%
生徒	36%	49%	11%	4%



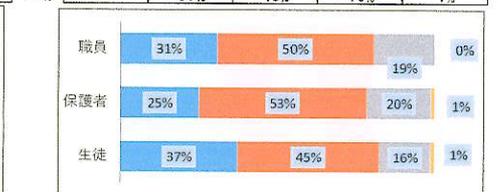
A+B 令和6年度

	A	B	C	D
職員	17%	70%	13%	0%
保護者	21%	57%	21%	1%
生徒	33%	47%	16%	4%



A+B 令和5年度

	A	B	C	D
職員	31%	50%	19%	0%
保護者	25%	53%	20%	1%
生徒	37%	45%	16%	1%

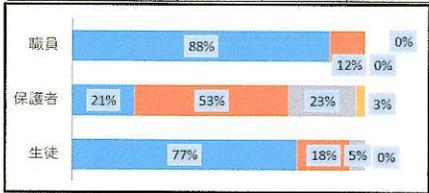


**【質問項目 1 4】 総合的な学習の時間（地域学習・キャリア教育）**

【職員】 ⑭1年：地域発見，2年：職場体験，3年：地域未来プロジェクトの学習を通して、子供たちにこの地域のよさを実感できるようにしています。  
 【保護者】 ⑭生徒（お子さん）は、総合的な学習や行事を通じて地域に関心をもつようになってきたと感じる。  
 【生徒】 ⑭1年：地域発見，2年：職場体験，3年：地域未来プロジェクトなどの学習を通して、この地域のよさを発見したり、実感したりすることができています。

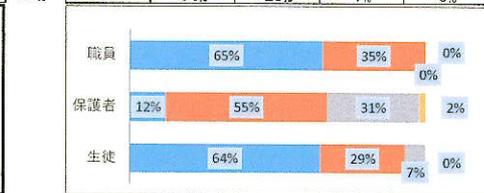
令和7年度

	A	B	C	D
職員	88%	12%	0%	0%
保護者	21%	53%	23%	3%
生徒	77%	18%	5%	0%



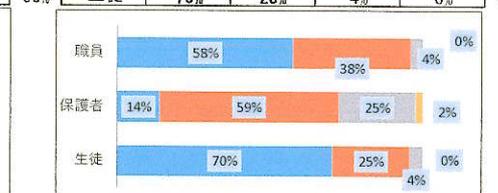
A+B 令和6年度

	A	B	C	D
職員	65%	35%	0%	0%
保護者	12%	55%	31%	2%
生徒	64%	29%	7%	0%



A+B 令和5年度

	A	B	C	D
職員	58%	38%	4%	0%
保護者	14%	59%	25%	2%
生徒	70%	25%	4%	0%



**【質問項目 1 5】 家庭との連携**

【職員】 ⑮保護者の話をよく聞き、家庭と協力しながら生徒を育てることを大切にしています。  
 【保護者】 ⑮学校職員は、子どもや保護者の話をよく聞き、子どもや家庭に対して適切な対応をしている。  
 【生徒】 ⑮家の人と学校での出来事や将来について話すことがあります。

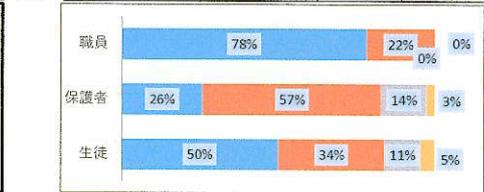
令和7年度

	A	B	C	D
職員	60%	40%	0%	0%
保護者	25%	61%	11%	2%
生徒	55%	30%	14%	1%



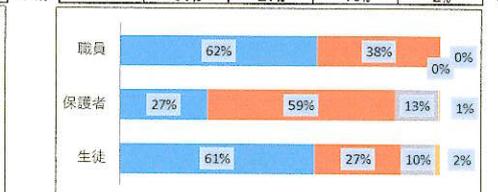
A+B 令和6年度

	A	B	C	D
職員	78%	22%	0%	0%
保護者	26%	57%	14%	3%
生徒	50%	34%	11%	5%



A+B 令和5年度

	A	B	C	D
職員	62%	38%	0%	0%
保護者	27%	59%	13%	1%
生徒	61%	27%	10%	2%



**【質問項目 1 6】 家庭との連携（参観日・学校開放）**

【職員】 ⑯参観日や学校開放日や懇談会などを通して、本校への理解や関心を高めてもらえるよう、努めています。  
 【保護者】 ⑯参観日や学校開放日や懇談会などの機会には、学校への理解や関心を高めるために、積極的に参加している。  
 【生徒】 ⑯親や家族は学校での活動や行事に関心をもって来ています。

令和7年度

	A	B	C	D
職員	60%	40%	0%	0%
保護者	37%	42%	19%	2%
生徒	64%	27%	7%	2%



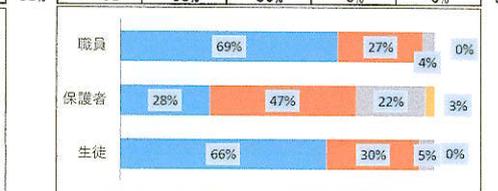
A+B 令和6年度

	A	B	C	D
職員	61%	39%	0%	0%
保護者	30%	42%	26%	2%
生徒	56%	38%	6%	1%



A+B 令和5年度

	A	B	C	D
職員	69%	27%	4%	0%
保護者	28%	47%	22%	3%
生徒	66%	30%	5%	0%

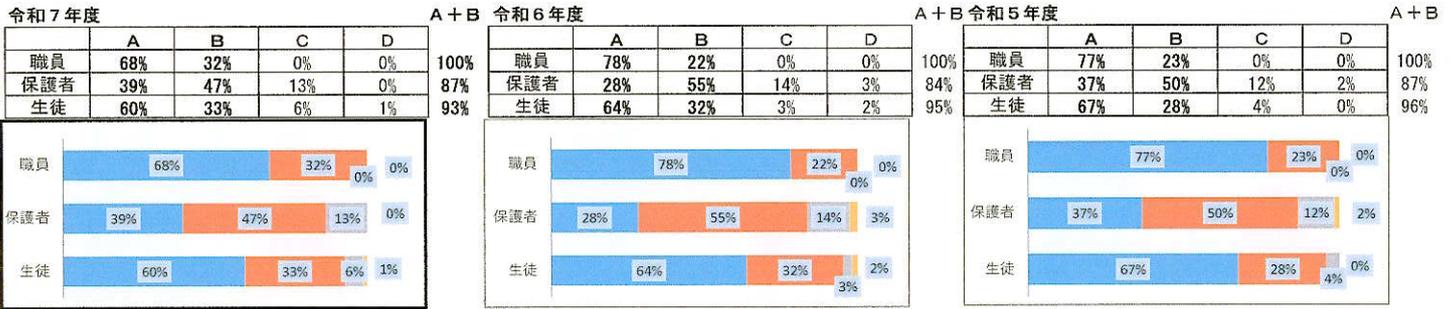


【質問項目 17】 学校からの情報発信

【職員】 ①学校・学年・学級だよりなどで、大切な情報や学校での子供たちの様子を、家庭にわかりやすく伝えていきます。

【保護者】 ①学校・学年・学級だよりやホームページ等に目を通し、学校の様子を知るよう心がけている。

【生徒】 ①学年・学級だよりは、学校の様子を家に伝えてくれるよい手段になっていると思います。



＜考察＞

- 良好な交友関係を築けていると感じている生徒や保護者が多くいる一方、人間関係に悩みを持っていたり、不安を感じていたりする生徒がいることも事実である。地域や家庭、学校との連絡を密に取りあいながら、生徒一人一人の成長を支援できる体制をこれからも築いていきたい。
- 学校生活に充実感を持っている生徒多くいる一方、達成感を持っていない生徒もいる。生徒会活動や日頃の授業、学校行事などを通して、達成感を感じることも大切にしていきたい。
- 清掃と下駄箱の靴そろえについて、保護者と生徒のA B評価は、昨年度とほぼ同水準で高い。生徒と共に活動したり、生徒への声かけをしたりして、生徒の活動をさらに活性化するとともに、良好な学習環境を整える役割を担っていることを自覚していきたい。また、清掃活動には課題があると感じている職員も多くいる。生徒会活動とも連携し、黙想から片付けまで集中して取り組める清掃することを実践したい。
- 家庭学習について今年度も三者ともに大きく低水準となった。職員や生徒が感じていることと保護者が感じていることには開きがあり、家庭学習のあり方について再考していかなければならないと考える。家庭学習を通してどのような力をつけるのか子ども自身が理解できるよう支援したい。また、学校と家庭の連携を密にとり、家庭での様子や学校での様子の情報交換を行いながら、より有効な家庭学習となるよう努めたい。
- より良い生活習慣づくりとメディアコントロールについては、生徒と職員、保護者の間に認識の差があると感じる。今年度も月に一回取り組んだメディアコントロールデーのさらなる充実を図り、生徒一人一人がメディアとどのように接していくべきか判断できるよう支援する。情報化社会を生き抜く生徒にとって、SNSやメディアとは切っても切れないものであると言える昨今、どのような付き合い方していくか、生徒自身が考え、判断し、関わっていける力がつくよう支援したい。
- 総合的な学習の時間では、三者ともに高い水準となった。今年度のアントレプレナーシップ学習では、生徒が自主的に地域に学びに行き、学んだ事を実践しながら、紫苑祭の中で発表することができた。地域や保護者からも学びの過程が見え、大変好評であった。今後も子どもたち一人一人が、探求できるよう支援したい。
- 学校と家庭の連携では、高評価を頂いている一方、ややあてはまらない、あてはまらないと回答いただいた家庭も多くあった。家庭との連携を密にできていると感じている職員とのずれがあることも確かである。些細な変化であっても連絡を入れることや話を聞くというスタンスで学級や学校経営をしていることを幾度となくお伝えしていきたい。

## 2. 生徒・保護者の皆様からの意見について

「地域とともに歩む学校」を推進する学校運営に対しまして、保護者の皆様より多くのご賛同、ご支援いただいておりますことに感謝申し上げます。「生徒の個性を尊重した対応をしていただき、ありがたい」などという旨の記入がたくさんあり、職員一同勇気と元気をいただきました。また、生徒の皆さんからも貴重なご意見をいただきました。

以下のご意見・ご指摘いただいた点につきましては、今後、検討・改善をまいります。

### (1) 教職員について

- ・教職員の方では挨拶が感じ悪い方もいます。中には挨拶してこない方もいます。挨拶は基本だと思います。
- ・あつという間の3年間でした。お世話になった先生方にはとても感謝しております。特に3年生になってからは、担任の先生との関わりがこれまでより増えて楽しかったようです。アントレ学習にも意欲的に取り組み、充実した学校生活を過ごせたと思います。
- ・いつもありがとうございます。進路の件では親身に相談ののっていただいたりと、大変助かっております。今後ともよろしく願いいたします。
- ・子供から先生が楽しくて好きと聞いています。素敵な時間を作ってくださいありがとうございます。
- ・先生方の感情で動くのではなく、子どもたちの話をきちんと聞いて、常に子どもたちから信頼される先生であってほしい。

○平素より、教育活動に対しご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。教職員と保護者の皆様、地域の方々との連携を図っていくことが、生徒の成長に繋がると考えております。ともに同じ方向を向いて、生徒の成長や学びを今後も見守っていただければ幸いです。しかしながら、挨拶のことや日々の生徒とののかかりについて厳しいご意見もいただきました。真摯に受け止めより一層精進したいと考えておりますので、今後ともよろしく

### (2) 学級編成について

- ・1年生の問題は早めに解決して欲しい。1年生に関わる先生方だけでなく、学校全体で取り組んでほしいです。
- ・急なクラス替えはやめてもらいたいです。もし、何か問題があるなら、それを解決してほしいです。
- ・先日の突然のクラス替え発表では、保護者への説明もなく、いかにも簡単に考えてる校長先生の様子に、とても残念に思いました。しかも学年集会で子供へ先に伝え、期待と不安を仰ぐ事態に保護者として納得出来る事ではありませんでした。PTA役員の一部の方も外へ情報を流していたようで、情報管理が甘くも感じられます。
- ・子どものことで学校に相談しても話をただ聞くだけで具体的な対応策がなく、現状が変わることはない。いじめと思われる事案があっても放っておかれる。問題のある生徒に対する指導がない。対応策がない。多くの生徒が良ければ良い、その中で苦痛を感じている生徒は学校に来れなくなっても生徒自身や家庭の問題だ、学校では関係ないと言われてるように感じる。授業中、一部の生徒が授業崩壊させており、学習どころではない。苦情を伝えてもそれに対する対応策もない。クラス編成の一連の動きを見ると生徒たちは学校方針に振り回された。大人は信頼できないと思わせる事例になったと思う。
- ・うちの子の学年ではないですが、いじめがエスカレートしていると聞きました。クラス替えを検討するほどだと... その子を守るために今までしなかったクラス替えするとは感激しましたが アンケートを実施してしない方向になったとか 今後のいじめ対策をいじめられている子を離すやり方ではない方法で解決されることを願っています。
- ・学校に対してあまり不満ありませんでしたが、1年生のクラス替えの件で先生方が子供達に先に言ってしまった事。ガッカリしました。保護者が子供達から聞いて知る事がないようにして頂きたいです。

○1学年の学級編成についてのご意見も多くいただきました。詳細については先日行った1学年保護者会で説明した通りで、今年度は1学年の学級編成は行いません。生徒のみなさんや保護者の皆様方には大変ご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。今回の件で不安や心配をもってしまった生徒もいるはずです。生徒一人一人の様子をしっかり注視し、対話の時間も設けながら、チームで支援していきたいと考えております。また、交友関係に悩みを抱えていたり、つらい思いをしていたりする生徒には、学年の職員だけでなく、全職員がチームとなり対応していきます。保護者の皆様が不安に思うことがありましたら学校へご連絡いただければと思います。よろしく願いいたします。

### (3) 授業について

- ・いつもお世話になっております。子供からです。クラスごとに授業の速度に違いがあり、先生の教えた方も違うので、片方のクラスは進んでいるため動画を見たりして調整をすることがあると聞きました。担当の先生の考えもあることと思いますが、少し進度を考慮していただけると幸いです。
- ・アントレ学習は、従来の固定観念に囚われず、生徒の可能性を引き出していただけたと思います。学校、先生方から不可能と言われてしまえばそれで終わってしまう企画ばかりだったかと思えます。ありがとうございます。

○授業の進度や教え方についてのご意見もいただきました。日頃より教科会を開き確認しておりますが、いただいたご意見を真摯に受け止め、より一層教科会の充実を図っていきます。ありがとうございます。

○アントレ学習についてのご意見もいただきました。アントレを通して、どんな学びがあり、どのような力をつけたのか振り返りを行い、今後の教育活動に活かしていきたいと思えます。

### (4) その他

- ・学級閉鎖のお知らせメールですが、今回のように、全体に向けて発信してもらえると、今の学校での状況を全保護者が把握することができるので、とてもありがたいです。今後も続けてほしいです。
- ・女子トイレが和式が多く、洋式が少ないようでなので、洋式トイレへの改修をお願いしたいです。今は、大人も洋式トイレを選びますし、こどもたちも、制服のスカートで和式はかわいそうです。
- ・冬期の服装ですが、カーディガン等を制服の下に着ても良いという話を上の子の時に聞き、買いましたが、長さがどうだとか、いろいろ言われるようで、結局着ていけなくなりました。いろいろとルールがあるようでしたら、学校で、指定のカーディガン、もしくはニットベストを作っていただくか、これならよい、というものを斡旋するか、何か対策をとってほしいです。1日ブレザーを着たまま授業を受けるのも、若干窮屈かと。授業中は、カーディガン等でいられる環境もありかと思えます。
- ・朝イチの移動教室は、部屋が暖まっておらず、とても寒いようです。特に理科室。何かしら対策をとってもらえるとありがたいです。
- ・子供が学校に行くときにあまりコートなどをきたがりません。学内の収納が少なく、コートをしまう場所がないからというのが理由のようで、生徒同士でも「置き場欲しいよね」と話すことがあるそうです。ハンガーは各家庭持参するようにして、教室の後ろや廊下などに、物干し竿のようなコートを引っ掛けられる場所を設置していただけるとありがたいです。
- ・スマホやSNS等の学習をもう少し行ってもらいたい。

○学校メールについては、今年度も多く活用してまいりました。大変好評であったため今後も活用していきたいと思えます。

○トイレの改修については、教育委員会で進めています。今後の見通しが持てたところでお伝えさせていただきます。

○カーディガンの使用に関しては、委員会活動の中でルールが決まっております。しかし、生徒の事情によって相談に乗り、改善を図っていくことができます。今回頂いたご意見をもとに委員会で話し合いたいと働いております。

○本校のロッカーが大変狭いことは申し訳ありません。コートをどのように管理するのが早急に検討し、対策を取りたいと考えております。大変貴重なご意見ありがとうございます。

○SNSに関する授業はできるだけ多く取り入れているだけでなく、メディアコントロールデーを設け委員会活動としても取り組んでおります。しかしな